

2008年5月12日
株式会社日立ディスプレイズ

中小型 IPS 液晶の生産能力を約 25%増強

株式会社日立ディスプレイズ(取締役社長:井本義之ノ以下、日立ディスプレイズ)は、携帯電話用やデジタル一眼レフカメラ用などの高画質な IPS 液晶の需要に対応して、このたび約 81 億円の追加投資を決定しました。2007 年 9 月に決定し、既に生産能力増強に着手している約 86 億円の投資と合わせて、2007 年度から 2008 年度にかけて総額 167 億円の設備投資を行います。これにより、第 4 世代の基板サイズ換算で、2007 年度に約 8 万枚/月の基板投入能力を、2009 年度までに約 10 万枚へ約 25%増強します。

高画質で視野特性に優れた IPS 液晶は、テレビ用大型液晶において画質の高さで評価されていますが、中小型液晶の領域でも、デジタル一眼レフカメラの需要拡大や、ワンセグ対応の携帯電話の普及などに伴い、高画質で視野角特性に優れ、斜めから画像を見てもコントラストや色合いが変化しにくい IPS 液晶の需要が高まっています。

このため、日立ディスプレイズは、2007 年 9 月に、微細加工設備を含め、約 86 億円の投資を決定し、IPS 液晶のさらなる性能向上*と茂原事業所の V3 ラインの生産能力増強を進めています。さらにこのたび、約 81 億円の追加投資を行うことを新たに決定し、総額 167 億円の投資により、第 4 世代の基板サイズ換算で、事業所全体として 2007 年度に約 8 万枚/月の基板投入能力を、2009 年度までに約 10 万枚/月まで約 25%高め、中小型 IPS 液晶の高い需要に対応していきます。

* 2007 年 10 月に、従来比 1.4 倍の輝度向上を実現した IPS-Pro-Prollezza(プロレッツァ)技術を開発。2008 年度に製品展開予定。
IPS-Pro-Prollezza は、In-Plane Switching-Provectus-Prollezza の略。Provectus は、ラテン語で「革新」の意味、Prollezza は、Progress と Bellezza(イタリア語で「美」)を組み合わせた造語。

IPS 技術とは

IPS 技術は、TN 方式などの通常の TFT 液晶とは動作が異なる、In-Plane-Switching(横電界)方式の TFT 液晶技術です。株式会社日立製作所が 1995 年に発表し、1996 年に実用化しました。その後、Super-IPS、Advanced-Super IPS、IPS-Pro と進化しています。本技術は、液晶分子が横電界によって TFT 基板に平行な面で回転するもので、その分子の動きがシンプルなため、視野角や色再現性、中間調での応答速度などに優れた性能をもっています。IPS 技術により、見る角度でコントラストや色調が変化するという液晶の視野角問題を、視野角補償フィルムなしで大幅に改善することができ、「斜めから見ても美しい」画像を再現できます。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
